

肢体不自由による困難さに応じてICT機器を組み合わせて活用

【活用したICT機器、ソフトや機能等】

1人1台端末、デジタル教科書、リフロー（読み上げ）機能、視線入力用ディスプレイ、デジタル教科書用ディスプレイ

コンピュータや視線入力装置、デジタル教科書等を効果的に組み合わせて、肢体不自由による困難さに応じて、支援機器等を活用し学習活動を展開している。

○支援機器等を組み合わせた活用

仰向けでの姿勢を保持したまま、学習する必要があるため、ディスプレイを2台活用している。

メインディスプレイには学習プリント、サブディスプレイにはデジタル教科書を映し、視線入力装置で学習プリントに文字を入力したり、サブディスプレイを見ながら、単語や英文の用法を確認したりできるようにしている。

外国語科のデジタル教科書を使った学習では、リフロー（読み上げ）機能を使用することで、単語と音韻との関係を理解できるようにしている。

